

Announcing to public Unnan

広報 うんなん



ご存じですか

カタクリの花です。ユリ科の多年草で開花するまで7年を要します。

昔は根の部分を使って片栗粉を作っていた貴重な花です。

(写真は奥出雲町 船通山)

公立雲南総合病院

P2~7

へき地医療貢献者全国表彰受賞	
訪問リハビリテーション事業所「うんなん」の開設	2
組織・職員配置	3~4
19年度予算の概要	5
お知らせ(外来診療担当医一覧)	6~7

雲南消防本部

P8~13

組織図	8
職員配置	9
19年度予算の概要、議会報告	10
お知らせ	11~13

雲南広域連合

P14~27

連合長所信表明、議会報告、お知らせ	14~15
19年度予算の概要	16~17
バスツアー、雲南物産展	18
組織・職員配置、18年度情報開示の状況	19
介護保険情報	20~25

雲南イベント情報

P26~27

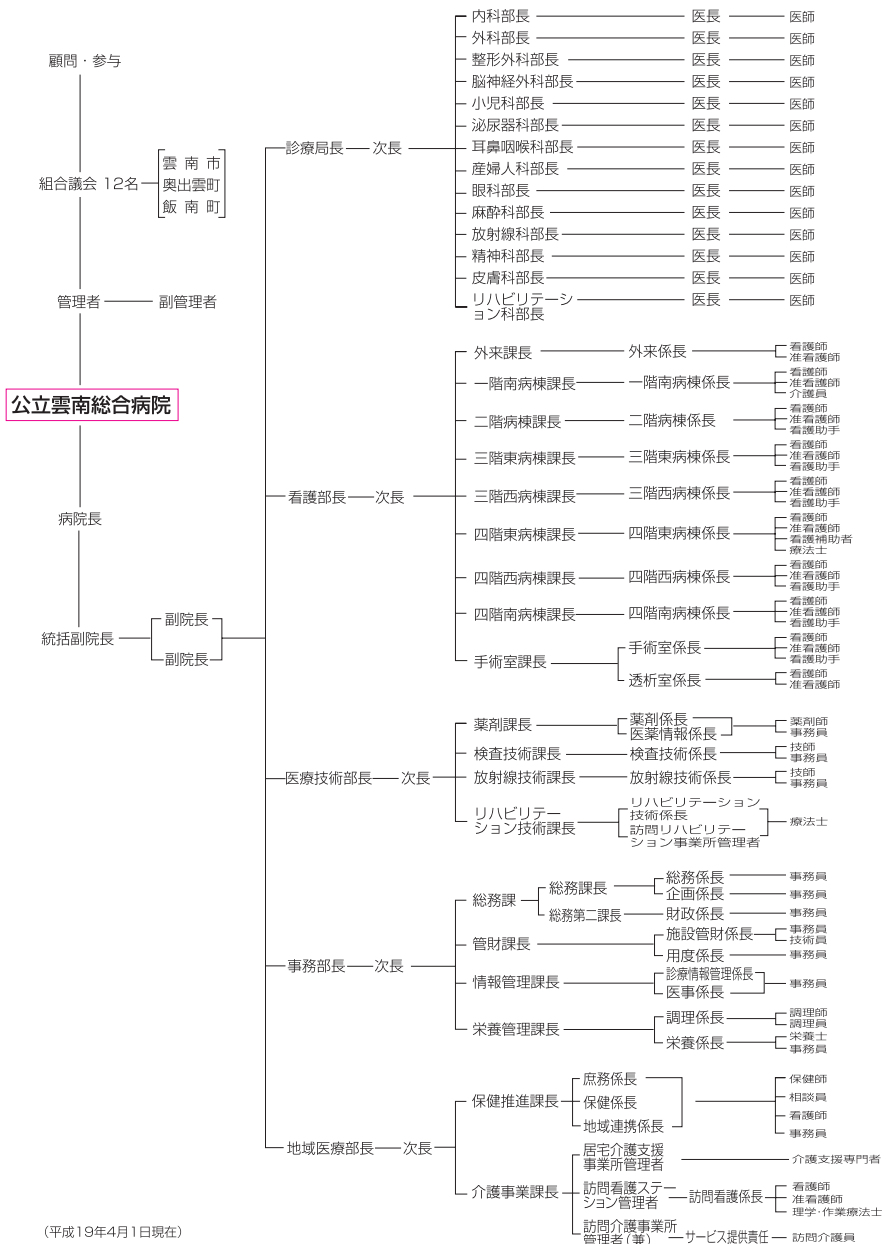


初夏号

2007 vol.5

平成19年5月15日発行

公立雲南病院組合組織図



服部 修三 副院長



へき地医療貢献者全国表彰受賞

服部副院長は、昭和52年3月に内科医として赴任以来、通算24年間にわたり地域医療充実のため、積極的な検診活動及び地域医療連携の強化に務められた功績により全国自治体病院開設者協議会から栄えある表彰をされました。



訪問リハビリテーション事業所「うんなん」

介護予防訪問リハビリテーション事業所「うんなん」の開設

当院では平成19年4月から訪問リハビリテーション事業所「うんなん」・介護予防訪問リハビリテーション事業所「うんなん」を開設いたしました。

これまで、訪問看護事業において訪問リハビリを行っていましたが、介護予防法の見直しにより、一部の利用者の皆さまにはこれまでの訪問看護事業でのサービス提供が難しくなったことによるものです。一定条件を満たした利用者の皆さまには、これまでどおり訪問看護事業の中でサービス提供を行っていく所存でございます。住民の皆さまに親しんでいただけるようスタッフ一同頑張っていきますので宜しくお願いいたします。

お問合せは、公立雲南総合病院 リハビリテーション技術科まで



訪問リハビリスタッフ

新任医師紹介



そ だ かず なり
曾田 一也
役職名 内科医師 地域医療部長兼診療局内科部長
資格 内科専門医(日本内科学会認定)
消化器病専門医(日本消化器病学会認定)
消化器内視鏡専門医(日本消化器内視鏡学会認定)

ひとこと
石見の山奥からやってきました。
およそ20年ぶりの出雲の国です。
石見(広島)弁から出雲弁へ、
なつかしい思いです。
よろしく願っています。



もり や あき お
守屋 昭男
役職名 内科医師 診療局内科部長
趣味・特技 テニス

ひとこと
2月より、出雲市立総合医療センターから異動してまいりました。
肝炎・肝癌を中心に診療していきたいと思っております。
よろしく願っています。



かね こ しん や
金子 真也
役職名 整形外科医師 診療局整形外科部長
資格 整形外科学会専門医(日本整形外科学会認定)
趣味・特技 スキー・スキューバダイビング・読書

ひとこと
雲南地域医療に貢献できるように精一杯がんばります。



あ べ まり こ
安部 真理子
役職名 小児科医師
趣味・特技 オーボエ

ひとこと
島根大学より赴任してきました。
よろしく願っています。

長い間ご苦労様でした
今後の皆様方のご健勝を
祈念いたします

小林 智明様
佐々木 悦子様
加藤 泰様
吉川 武行様



永年勤続職員退職者

寄贈していただきありがとうございました。

善意の
寄贈

高規格車いす 永瀬 晴江様 (雲南市大東町)

公立雲南総合病院組合 職員紹介

平成19年5月1日現在

管理者 速水 雄一 院長 大塚 昭雄
副管理者 山崎 英樹 統轄副院長 山本 俊(内科)
副管理者 岩田 一郎 副院長 服部 修三(内科)
常勤副管理者 秦 和夫 副院長 松井 謙(整形外科)

【診療局】○診療局顧問 川上 伸兒(産婦人科) ○医療技術部長 末光 浩也(外科)
○診療局長 安東 誠一(脳神経外科) ○地域医療部長 曾田 一也(内科)
○診療局次長 大谷 順(外科)

内 科	山本 俊	服部 修三	曾田 一也	守屋 昭男
小 児 科	根 宜 由美	安部 真理子		
外 形 外 科	末光 浩也	大谷 順	須藤 一郎	植田 宏治
産 婦 人 科	松井 謙	田中日出樹	金子 真也	沼本 邦彦
耳 鼻 咽 喉 科	川上 伸兒			
眼 科	佐野 啓介			
脳 神 経 外 科	石原 美香			
放 射 線 科	安東 誠一			
泌 尿 器 科	福庭 栄治			
リハビリテーション科	瀬島 健裕	塩野 学		
麻 酔 科	大塚 昭雄	江田 有史		
精 神 科	代務 医師			
皮 膚 科	代務 医師			

【看護部】○部長 白根 典子 ○次長 青木 美紀子

【医療技術部】○部長 末光浩也 ○末光浩也 ※兼職

部 署	課 長	係 長	部 署	課 長	係 長
外 来	江角 小百合	大島 一美	薬 剤 科	上代 茂	薬剤係 後藤 真由美 医療情報係 吉野 由美子
手術室・透析室	山 本 緑	手術室 ※岩田 公子 透析室 渡部 英二	放射線技術科	渡部 利晴	野口 悦現
2 階	鶴原 郁子	森山 直美	検査技術科	若槻 純子	岩間 修平
3 階 東	藤原 峰子	岩田 公子 白石 淳子	心臓血管技術科	田中 美能留	陶山 幸弘
3 階 西	板持 さとみ	藤原 智恵子			
4 階 東 (回復期リハビリ)	※青木 美紀子	勝部 継美			
4 階 西	芝原 啓子	前島 里子			
1 階 南 (療養病床)	野本 八重子	※野本 八重子			

【地域医療部】○部長 曾田一也 ○次長 妻戸敏男

部 署	課 長	係 長
保健推進課	※妻戸 敏男	庶務係 好高 保健係 ※妻戸 敏男 地域連携係 ※妻戸 敏男
介護事業課	石飛 さとみ	居宅介護支援 ※石飛 さとみ 訪問看護 勝部 友子 訪問介護 ※石飛 さとみ

【事務部】○部長 小林利春 ○次長 ※小林利春

部 署	課 長	係 長	部 署	課 長	係 長
総 務 課	田中 稔	総務係 深津 正則 企画係 ※田中 稔	情報管理課	景山 博司	診療情報管理係 ※景山 博司 医事係 石原 忍
総務課(第2)	佐伯 邦義	財政係 筒井 英二	栄養管理課	佐藤 芳正	調理係 岩田 正敏 栄養係 新田 多智子
管 財 課	大島 敏一	施設管財係 ※大島 敏一 用度係 小川 祐幸			

公立雲南総合病院外来診療担当医一覧表

受付時間	午前	8時30分～11時00分 (初診の方) 7時15分～11時00分 (再診の方)
	午後	1時00分～4時00分 (診療科については下記表をご確認ください)
休診日	土、日曜日・祝日・年末年始(12月30日～1月4日) ※尚、急患の方はいつでも救急外来にて診察いたします。	
面会時間	平日	午前11時00分～午後8時00分
	休診日	※上記以外の面会は診療に差支えますのでご連絡下さい。

平成19年5月1日現在

<所在地>
〒699-1221
鳥根県雲南市大東町飯田96-1
Tel 0854-43-2390 (代)
Fax 0854-43-2398
【ホムアシアリス】
http://user.yoitoko.jp/unnan-h/

診療科	月		火		水		木		金		
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	
内科	一診 (再診・予約)	服部 修三	—	曾田 一也	—	—	—	服部 修三	—	服部 修三	—
	二診 (再診・予約)	山本 俊	—	—	—	守屋 昭男	—	山本 俊	—	—	—
	三診 (糖尿・予約)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	大学医師
小児科	六診 (初診)	守屋/曾田 (隔週)	—	服部 修三	—	山本 俊	—	守屋 昭男	—	曾田 一也	—
	内視鏡検査	大学医師	—	山本 俊	—	曾田 一也	—	大学医師	—	守屋 昭男	—
循環器外来(予約)	金築 一摩	—	—	—	—	今井 健介	—	—	—	織田 禎二	—
小児科	一診	根直 由美	根直 由美	根直 由美	根直 由美	根直 由美	根直 由美	根直 由美	根直 由美	安倍真理子	安倍真理子
	二診	安倍真理子	安倍真理子	安倍真理子	安倍真理子	安倍真理子	安倍真理子	安倍真理子	安倍真理子	大学医師	—
外科	一診	末光 浩也	—	大谷 順	—	末光 浩也	—	大谷 順	—	末光 浩也	—
	二診	植田 宏治	—	—	—	須藤 一郎	—	植田 宏治	末光 浩也	須藤 一郎	—
整形外科	一診	松井 謙	—	田中日出樹	—	松井 謙	—	江田 有史	—	田中日出樹	—
	二診	沼本 邦彦	—	金子 真也	—	金子 真也	—	沼本 邦彦	—	金子 真也	—
	三診	江田 有史	—	松井 謙	—	田中日出樹	—	田中日出樹	—	松井 謙	—
脳神経外科	安東 誠一	—	安東 誠一	—	安東 誠一	—	安東 誠一	—	安東 誠一	—	
産婦人科	川上 伸兒	—	川上 伸兒	—	大学医師	—	川上 伸兒	—	川上 伸兒	—	
耳鼻咽喉科	一診	佐野 啓介 (予約一般) 14:30～ 佐野 啓介	—	佐野 啓介	—	佐野 啓介	—	佐野 啓介	—	佐野 啓介	(予約一般) 14:30～ 佐野 啓介
	二診	—	—	—	—	—	—	—	—	—	大学医師
眼科(予約)	石原 美香	—	石原 美香	—	石原 美香	—	石原 美香	コタ外外来	石原 美香	—	
泌尿器科	塩野 学	—	瀬島 健裕	—	瀬島 健裕	—	塩野 学	—	瀬島 健裕	—	
麻酔科	大学医師	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
皮膚科	渡邊 徹心	—	—	—	—	進藤 貴久	—	—	—	渡邊 徹心	
放射線科	福庭 栄治 「紹介患者のみ」										
リハビリテーション科	金子 真也 「紹介患者のみ」	—	江田 有史 「紹介患者のみ」	—	沼本 邦彦 「紹介患者のみ」	—	金子 真也 「紹介患者のみ」	—	江田 有史 「紹介患者のみ」	—	—
精神科	原 陽一	—	神尾 聡	—	代務 医師	—	玉城 国哉	—	—	—	—

○眼 科：木曜日午後のコンタクト外来(受付時間 午後1時30分～3時30分)

第1・5木曜日 シードコンタクト

第2・4木曜日 日本コンタクト

第3木曜日 サンコンタクト(チバビジョンコンタクトも取り扱っています。)

○外 科：肛門外来・乳腺外来・甲状腺外来は毎日、禁煙外来は毎週水曜日午前診療にて行っております。

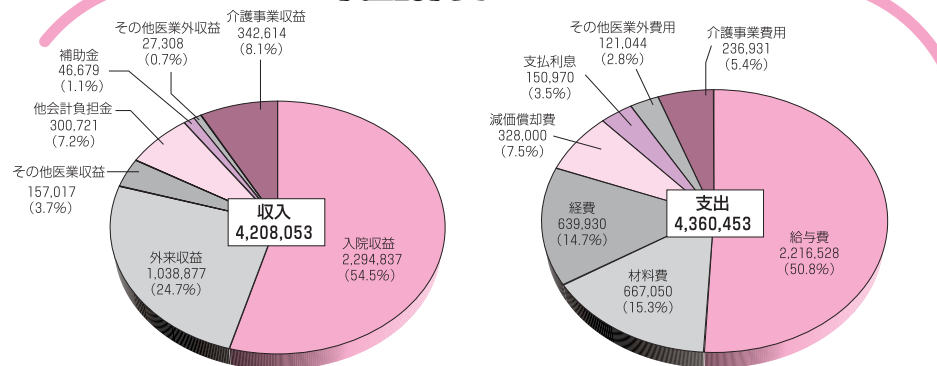
診療・予約等に関するお問合せは(0854)43-2390(代)までご連絡ください。

公立雲南総合病院組合 平成19年度事業会計予算の概要

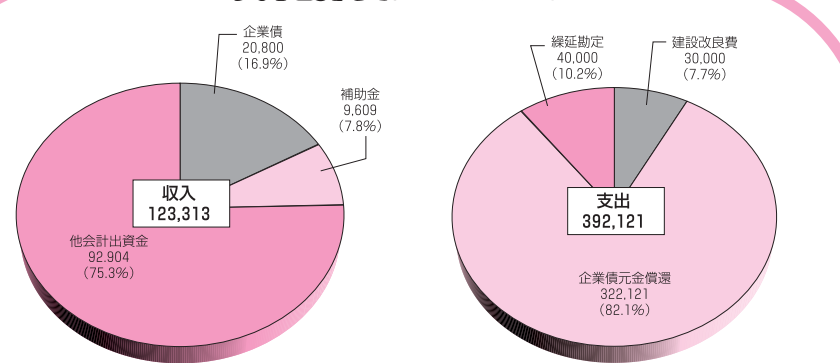
業務の予定量

1. 病院事業
 - (1) 病床数 286床【一般202床(うち12床亜急性期)・精神50床(一時的閉鎖)・回復期リハビリ30床・感染症4床】
 - (2) 患者数 入院 76,860人 1日平均患者数 210.0人
外来 136,640人 1日平均患者数 560.0人
2. 介護事業
 - (1) 介護支援事業
 - ① 調査受託件数……………156件
 - ② サービス計画件数……………1,080件
 - (2) 訪問看護事業
 - 延利用者数……………7,428人
 - ※訪問リハビリ事業含む
 - (3) 訪問介護事業
 - 延利用者数……………4,140人
 - (4) 療養病床事業
 - ① 病床数……………48床(療養(介護型))
 - ② 延患者数……………16,104人
 - ③ 1日平均患者数……………44.0人

収益的収支(消費税込*単位:千円)



資本的収支(消費税込*単位:千円)



※資本的収支不足額268,808千円は内部留保資金で補てんします。

※一般会計からの繰入れは収益的収入と資本的収入の合計で393,625千円の予定となっております。

消防本部・雲南消防署・奥出雲消防署・飯南消防署組織表

消 防 本 部	消 防 長		小 林 敏 雄	
	消 防 次 長		山 根 省 三	
	総 務 課		予 防 課	
	警 防 課		救 急 課	
	通 信 指 令 課			
	課 長	目黒 清雄	課 長 (兼)	山根 省三
	課長補佐	江角 正樹	課長補佐	佐藤 茂樹
	経理係長	鳥谷多津雄	危険物係長	土江 健司
	庶務係長	星野 尚幸	予防係長	戸藏 豊
	係 員	岩佐 直人	主 任	高橋 剛
			係 員	景山 隆介

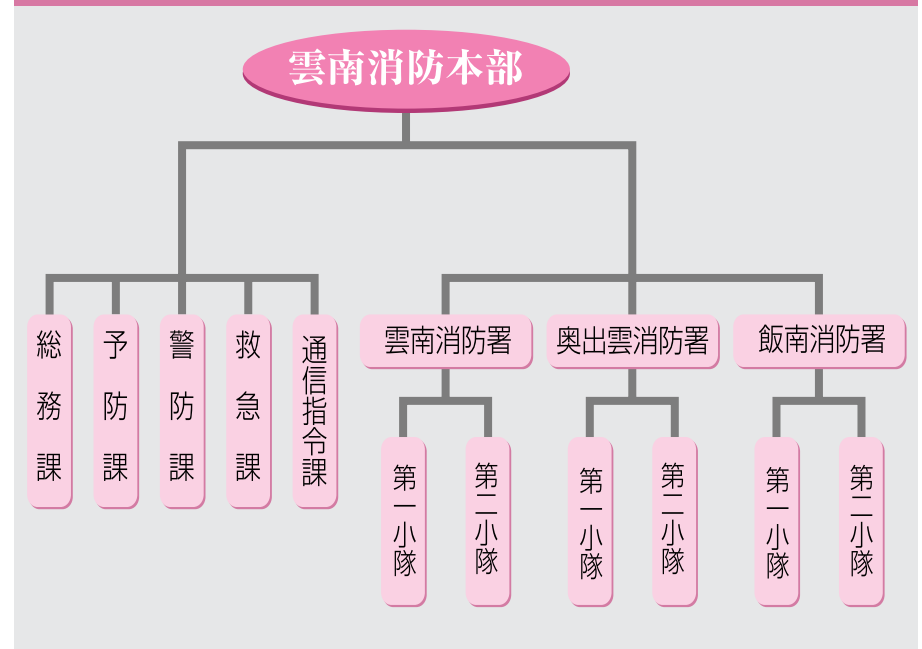
雲 南 消 防 署	署 長 (兼)		安 食 好 吉						
	第 1 小 隊 長		菅 田 裕 (兼予防係長事務取扱)						
	第 1 分 隊		第 2 分 隊						
	救 助 救 急 分 隊		救 急 分 隊						
	通 信 指 令 第 1 係								
		分隊長	警防係長	小川 隆	分隊長	庶務係長	兼予防主任	和久利 肇男	
		副分隊長	機械装備主任	渡邊 英樹	副分隊長			山毛 孝夫	
		隊 員	森山 淳	隊 員	岡田 修	隊 員	三島 克哉	副分隊長	力石 徹
		隊 員	伊豆 大輔	隊 員	船木 直人	隊 員	名原 秀一	隊 員	阿部 潤
		通 信 指 令 係 長 (兼)	藤原 尚樹		主 任	穴戸 俊介		係 員	板持 努
	係 員	川角裕一郎		係 員	藤原 睦美		係 員	川角裕一郎	

奥 出 雲 消 防 署	署 長		細 木 経 夫								
	第 1 小 隊 長		瀬 尾 正 明								
	第 1 分 隊		救 急 分 隊								
	第 2 小 隊 長		佐 藤 均 (兼予防係長事務取扱)								
	救 助 救 急 分 隊		救 急 分 隊								
		分隊長	警防・救助係長	糸原 文昭	分隊長	警防・救助係長	影山 直樹	分隊長	警防・救助係長	川西 幸一	
		副分隊長	庶務係長	兼予防主任	川角 健悟	副分隊長	永瀬 敏行	副分隊長	庶務係長	兼予防主任	
		隊 員	機械装備主任	岩田 浩樹	隊 員	嶋山 拓也	隊 員	田中 周	隊 員	中林 直仁	
		隊 員	小林 勝美	隊 員	三原 大吾	隊 員	矢壁 拓真	隊 員	荒木 哲夫	隊 員	田中 修司
		隊 員	藤原 祐	隊 員	藤原 祐	隊 員	藤原 祐	隊 員	野津 英孝	隊 員	野津 英孝

派 遣
島根県防災航空隊
吉 川 弘 典
島根県消防学校教官
熊 谷 将

飯 南 消 防 署	署 長		石 飛 啓								
	第 1 小 隊 長		昌 子 満 (兼予防係長事務取扱)								
	第 1 分 隊		救 急 分 隊								
	第 2 小 隊 長		安 井 将								
	救 助 救 急 分 隊		救 急 分 隊								
		分隊長	警防・救助係長	細木 敬	分隊長	警防・救助係長	糸原 潤	分隊長	警防・救助係長	本間 均	
		副分隊長	庶務係長	兼予防主任	宇山 蓮雄	副分隊長	岡本 臣司	副分隊長	庶務係長	兼予防主任	
		隊 員	松村 秀一	隊 員	中村 貴広	隊 員	石原 慎也	隊 員	若槻 高幸	隊 員	若槻 高幸
		隊 員	中村 貴広	隊 員	江角 貴勤	隊 員	石原 慎也	隊 員	若槻 高幸	隊 員	若槻 高幸
		隊 員	石原 慎也	隊 員	若槻 高幸	隊 員	若槻 高幸	隊 員	若槻 高幸	隊 員	若槻 高幸

雲南消防本部の組織図



雲南消防本部 雲南消防署

雲南市木次町里方1100-6

代 表 (0854) 40-0119 FAX42-1911
 総務課 (0854) 40-0129
 予防課 (0854) 40-0139
 警防課 (0854) 40-0149

奥出雲消防署

仁多郡奥出雲町三成1392-89

代 表 (0854) 54-2166 FAX54-2155

飯南消防署

飯石郡飯南町花栗840-13

代 表 (0854) 72-1201 FAX72-1204

火災の問い合わせ (0854) 42-0119

おめでとう!! 消防庁長官表彰受賞

大東町の佐世小学校少年消防クラブ(会長 伊藤多恵子校長、クラブ員78名)が、全国5530クラブある中から、「優良な少年消防クラブ」として全国少年消防クラブ運営指導協議会(会長 高部正男消防庁長官)表彰を受賞されました。

同クラブは平成元年結成以来、火災、地震、自然災害(水害)を想定した避難訓練、消火訓練や、消防本部が実施している研修会への参加など、永年にわたる活動が認められたものです。

3月26日、総務省消防庁で行われた表彰式には、同クラブを代表して野々村樹君が出席し、会長から表彰を受けました。



表彰盾を手にする
野々村樹君と伊藤校長

片石さん(掛合町)に感謝状贈呈



感謝状を贈られる片石宏憲さん

掛合町の片石宏憲さん(63)と母親の静枝さん(83)に、消防記念日の3月7日消防長から消防協力者として感謝状を贈呈しました。

これは、2月20日昼ごろ、静枝さんが隣家の台所から煙が出ているのを発見し、近くの会社にいた宏憲さんに知らせるとともに119番通報。宏憲さんはすぐに駆けつけて、消火器で初期消火を行ったことで、被害を最小限に食い止めることができました。

同地区では昨年も火災があり、二人の連携と的確な判断がなければ、大きな火災につながる恐れがありました。

防災対応資材を配備



寄贈を受けた空気呼吸器

3月29日、(財)さんそ山陰技術振興財団より雲南消防本部に、空気呼吸器と空気ポンプ式の寄贈を受けました。

これは、同財団が高圧ガスに関する技術、安全、防災、保安などの研究開発に対する支援として、平成9年から毎年県内各消防本部に、「高圧ガス災害処理資材」の寄贈を行っているものです。

配備した雲南消防署では、今後高圧ガス災害や各種災害・事故などの現場活動で、住民生活の安全確保に有効活用します。



(財)さんそ山陰技術振興財団 仁井副理事長から目録を贈呈される小林消防長

雲南消防組合

議 会 報 告

平成19年2月27日、平成19年第1回雲南消防組合議会定例会を開催しました。今回の議会に次の議案を提出し、すべて原案どおり可決されました。

議決された事項

雲南消防本部及び消防署の設置等に関する条例の一部改正について

・消防組織法の一部を改正する法律(平成18年法律第64号)が施行されたことに伴い、根拠条項を改正しました。

消防職員の定数を定める条例の一部改正について

・地方自治法の一部を改正する法律(平成18年法律第53号)に基づき、収入役に代えて一般職員のうちから会計管理者を置くこととなり、職員定数に変更が生じることから、改正しました。

消防職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について

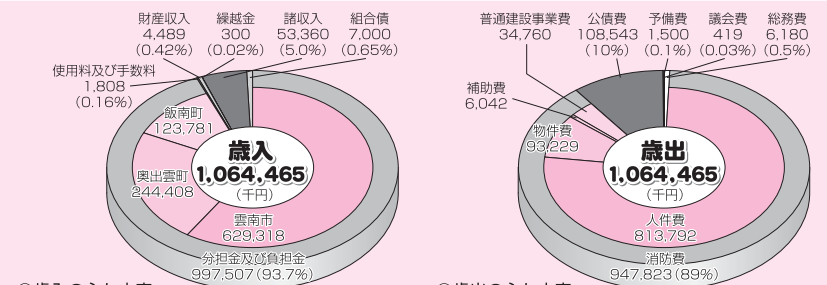
・人事院規則の一部が改正され、休憩時間が廃止されたことにより、消防本部においても休憩時間を廃止するための改正です。

消防職員の給与に関する条例の一部改正について

・扶養手当及び管理職手当について、国の改正に準拠するよう改正しました。

平成19年度雲南消防組合一般会計予算について

・平成19年度一般会計予算について、歳入歳出総額1,064,465千円となりました。



○歳入の主な内容

主な収入は、構成市町分担金がもっとも多く、歳入全体の9割を占めています。

○歳出の主な内容

平成3年に整備した消防ポンプ自動車は16年経過し老朽化したため、新たに更新し配備します。

●防火管理者(甲種)資格取得講習会

今年1月兵庫県宝塚市で発生したカラオケボックス火災では、ずさんな防火管理体制や防火意識の希薄さから惨事を引き起こしました。

今一度、防火管理の重要性を十分認識し、防火管理を徹底していかなければなりません。

防火管理者は、各事業所等の防火管理上必要な業務を適切に遂行できる、管理的または監督的な立場の人で、防火管理に関する講習会の課程を修了し、資格を取得しなければなりません。

今年度は2回開催し、定員に達し次第締め切ります。

この機会に資格を取得しましょう。



	第 1 回	第 2 回
講習日	平成19年6月13日(水)・14日(木)	平成19年12月6日(木)・7日(金)
定員	65名	65名
会場	雲南市木次町里方1100-6 雲南消防本部	

※詳細については、雲南消防本部予防課(TEL0854-40-0139)にお問い合わせ下さい。

●第20回少年消防クラブ員研修会

雲南消防本部及び雲南防火委員会では、管内小学4年生以上(少年消防クラブ員)を対象に、消防への理解とクラブ員相互の交流を図るため、少年消防クラブ員研修会を開催します。

日 時	平成19年7月27日(金) 受付 8:30~
場 所	雲南市木次町里方1100-6 雲南消防本部
申し込み方法	各小学校を通じて申し込んで下さい。(6月中旬)
研修内容	昼食作り、消防車・救急車の見学 消火訓練、地震・煙・放水体験、救急法など

※当日は奥出雲消防署、飯南消防署及び吉田総合センターから雲南消防本部まで送迎バスを運行します。
詳細については、雲南消防本部予防課(TEL0854-40-0139)にお問い合わせ下さい。



防火広報用視聴覚資器材を交付

日本防火協会から雲南防火委員会に、広報用資器材(プロジェクター、スクリーン、DVDレコーダー、ビデオカメラ、デジタルカメラなど)の交付を受けました。

今後、防火座談会において防火・防災のための知識の修得や、防災訓練などに参加した自主防災組織の活動記録、さらに、住宅用火災機器の設置推進等のための講習器材として活用します。



防災フェア開催



雲南消防本部と雲南防火委員会では、(財)日本防火協会の共催を得て、4月15日(日)雲南消防本部において「防災フェア」を開催しました。

当日は天候にも恵まれ、消防車両の展示や住宅用火災警報器の普及啓発活動、起震車による地震体験、煙迷路体験、救助隊による訓練展示など、約800名のみなさんに見学を頂きました。

この防災フェアで、消防の仕事の理解と広く火災予防や防災に対する認識を深めてもらうことができました。

防火クラブ紹介



頓原地区婦人防火クラブ

会長 若林 文子さん

私たちの防火クラブは、現在33の支部からなり406名で活動を行っています。

昨年、役員で飯南消防署へ伺った際には、最近の火災・事故などについて、とても参考になるお話を聞かせて頂きました。

その中で、特に印象深かったことは、消火器はどこの家庭にも備えてはいるものの、いざという時ちゃんと使えるのかしら?という不安がありました。確認方法として逆さにしてサラサラと粉の音がすれば使えることが分かり安心しました。

さらに、既存の住宅は平成23年6月までに住宅用火災警報器を設置しなくてはなりません。住宅用火災警報器を高額で販売する悪徳業者が県内でも発生していることを知りました。一般的に7~8千円の価格で購入できることを知り、惑わされないよう全会員へ周知徹底を行いました。

また、年3回発行している婦人会報では、毎回防火標語・短歌などを載せ、防火の気持ちを忘れぬように全会員に意識づけています。

私たちの活動は微力ですが、今後も一人一人が常に防火意識を持ち、頓原地区から火災が発生しないよう地道に活動を続けていきたいと思っています。

お知らせ

IP電話を利用されている方へ

119番通報できないかもしれません!!

IP電話とは、インターネット回線を使った電話です。

このIP電話をご利用されている方で、接続業者によっては「119番通報できない」場合があります。

IP電話を利用されている方は、以下の確認を早急にお願します。

確認方法

時報(117番)や天気予報(177番)に電話してみてください。

※もしつながらなかった場合は、119番通報できませんので、早急に電話機メーカーやIP電話事業者へお問い合わせ下さい。



議会報告

平成19年2月19日、平成19年2月雲南広域連合議会定例会を開催し、提出議案はいずれも原案のとおり可決されました。

議決された事項

○雲南広域連合議会委員会条例の一部を改正する条例について

地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴い、議長による委員の選任、電磁的記録による会議録の作成方法について、条例の一部を改正しました。(議会制度の充実に関する事項)

○職員勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について

国の勤務時間制度に準じ、平成19年4月1日から休息時間を廃止しました。

○雲南広域連合長、副広域連合長及び収入役の費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

地方自治法の一部を改正する法律及び雲南広域連合規約に基づき、平成19年4月1日から収入役を廃止することに伴い、条例の一部を改正しました。

○雲南広域連合特別職報酬等審議会条例の一部を改正する条例について

(同上)

○職員給与に関する条例の一部を改正する条例について

平成18年人事院勧告及び島根県人事委員会報告に準じ、平成19年4月1日から管理職手当及び扶養手当の改正を行いました。

○平成18年度雲南広域連合一般会計補正予算(第2号)

歳入歳出それぞれを1,988千円減額し、歳入歳出予算の総額はそれぞれ80,488千円と決めました。
主な内容
職員人件費及び派遣職員人件費負担金の減額
……………△1,626千円

○平成18年度雲南広域連合介護保険特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出それぞれを275,929千円減額し、歳入歳出予算の総額はそれぞれ5,973,297千円と決めました。
主な内容
保険給付費の減額……………△202,338千円
介護給付費準備基金積立金の減額……………△62,145千円
その他事務経費の精算による減額など
……………△12,195千円

○平成19年度雲南広域連合一般会計予算

歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ72,838千円と決めました。(詳細は16ページ)

○平成19年度雲南広域連合介護保険特別会計予算

歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ6,317,621千円と決めました。(詳細は17ページ)

お知らせ

○児童・生徒韓国交流派遣事業の参加者募集

しまね国際センターが実施する日韓親善「島根少年の翼」に参加する雲南地域の児童・生徒に対して、参加費の助成をします。
派遣時期は、夏休みの期間を予定しています。(日程等は調整中)
詳しい内容は決まり次第、各市町教育委員会、学校を通じてご連絡します。

○雲南地域ふるさとガイド養成セミナーの開催について

雲南地域の観光案内ができるガイドを養成するため、「雲南地域ふるさとガイド養成セミナー」の受講生を募集します。
第1回は7月28日(土)に「神話・神楽」講座を、第2回は9月22日(土)に「出雲弁」講座を予定しています。
興味・関心のある方は、雲南広域連合総務課までお電話ください。(0854-45-5880)

平成19年度 雲南広域連合長所信表明要旨

1 介護保険制度改正について

平成12年4月にスタートした介護保険制度は75歳以上の後期高齢者数や要介護認定者数の増加などにより、全国的に保険給付額が急増したことから見直しを迫られ、昨年4月から予防給付を柱とする、大幅な制度改正が行われました。

制度改正の背景には、大きく3つの課題が指摘されています。

第1点が、介護を社会全体で支える制度として定着しましたが、その一方で要支援や要介護1の軽度要介護者の方が急増し、保険給付費が増大してきたことです。

第2点が、給付費の増加により保険料も高くなり、第3期計画では当初の1.5倍、更にこのままでは平成24年度からの第5期では2倍を超え、月額平均6千円を超えると見込まれる状況となったことです。

第3点が、団塊世代が高齢化し2025年には高齢社会のピークを迎えることから、中・重度要介護者重点の給付への転換や、介護度の重度化を防止する取り組みなど、制度の安定化と給付の効率化が急務となってきたことなどがあります。

その対策として行われた今回の見直しの特徴としては、「介護予防」と「自立支援の強化」であります。

新しい制度では、支援や介護が必要な方に「できることを引き出すサービス」として、その方の意欲や能力を引き出す、目標指向型のサービスを提供することによって、心身機能を維

持・改善し、できる限り自立した生活をめざそうとするものであります。これにより、介護保険制度本来の理念であります「自立支援」を実現しようとするのが、大きな制度改正点であり、また今後の健全な介護保険制度運営に向けた方向性でもあります。

大幅な制度改正であります。1日も早く定着するよう制度改正の住民周知に心がけ、広域連合と市町が一体となって推進して参ります。

2 地域振興事業について

一昨年に策定した第2次広域計画、及び昨年12月に策定したふるさと市町村圏計画の後期計画に基づき、事業推進に努めて参ります。

観光振興事業については、引き続き最も多くの観光客導入や効果が期待できます。広島市を中心に、観光情報や特産品情報の発信に努めるとともに、更に特産品の雲南ブランド化に向けた環境づくりに努め、販路拡大施策を推進して参ります。

情報発信事業については、これまでテレビ、ラジオ、新聞、情報誌などあらゆるメディアを通じて情報発信に努めて参りましたが、これらに加えて、広島在住のふるさと会員の方向を対象に情報発信協力者を募集し、草の根的な情報発信のお手伝いをお願いする「雲南ふるさと応援団」制度を新設いたします。応援団に登録された会員には、口コミにより観光情報などを発信していただくほか、職場や行きつけのお店などにポスターやチラシの掲示、特産品の活用など、雲南地域の魅力発信と誘客を促

していただきます。

広島での応援団づくりと平行して、地元の応援団づくりも進めて参ります。これは、今後多くの団塊世代の方が職場を退職されること予想され、その方が持たれる雲南地域の神話・歴史・観光・物産などに関する、豊富な知識を活用して、いこうとするものです。市町の取り組みと連携するほか、民間のガイドクラブとも連携して、雲南地域のガイドができる方を養成して参ります。

雲南物産展は、広島市内の大手スーパーにおいて開催していますが、回を重ねることに雲南ファンは増加しております。定期的な開催により雲南ファンを拡大し、販路拡大と雲南ブランド品の取引先拡大に努めて参ります。また、雲南地域への観光客誘致策として引き続きメディアミックスによる観光情報発信、旅行社へのバスツアー企画の提案、雲南ブランド売込みキヤバンの隊の派遣など、積極的に取り組むとともにマイカー利用客の対策も進めて参ります。

3 広域的に行う事務の調査研究に関する事務

雲南地域1市2町が、新たな連携のもとに行わなければならない、広域的な行政課題は山積しており、更なる事務の効率化に向けた取り組みを中心に検討を進めて参ります。

※所信表明の全文は、雲南広域連合のホームページに掲載しています。

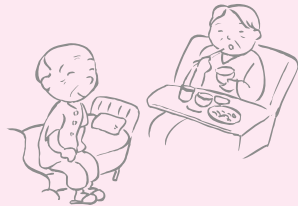
平成19年度 雲南広域連合当初予算の概要

介護保険特別会計

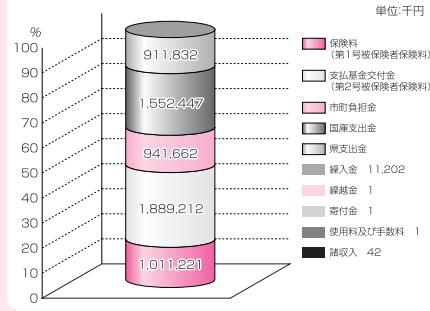
当初予算額は6,317,621千円で、前年度当初予算と比べて235,561千円(対前年度比3.87%)の増額となりました。

○前年度と比べて増額となった主な理由

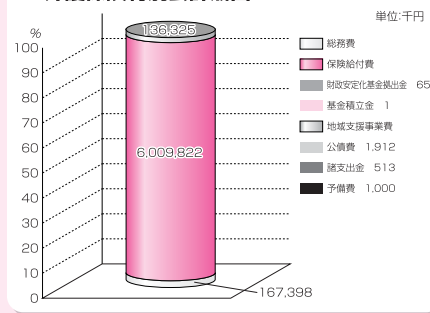
- ・高齢者人口やサービス利用者見込数の増加などにより、保険給付費を増額したため。
(対前年度比5.31%、303,128千円の増)
- ・地域支援事業に要する費用を、給付費見込額の2.3%に設定したため。
(対前年比19.77%、22,498千円の増)



介護保険特別会計歳入



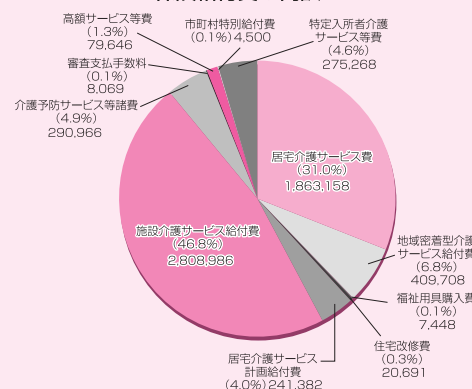
介護保険特別会計歳出



主な使いみち

- ・保険給付費……………6,009,822千円
要支援・要介護者が受ける居宅サービスや施設サービスなどの経費のうち、広域連合が負担するための費用です。
- ・地域支援事業費……………136,325千円
地域支援事業(介護予防事業、包括的支援事業、任意事業)を実施するための費用です。
- ・総務管理費……………107,374千円
介護保険の管理運営を行うための事務経費です。
- ・徴収費……………4,855千円
保険料の賦課徴収や滞納処分を行うための費用です。
- ・介護認定審査会費……………53,988千円
認定調査、主治医意見書作成、認定審査会実施のための費用です。
- ・趣旨普及費……………536千円
介護保険制度の仕組みやサービスの利用方法などをお知らせするための費用です。
- ・事業計画審議会費……………645千円
介護保険の実施状況を点検し、必要な対策を検討する審議会等を運営するための費用です。

保険給付費の内訳



一般会計

当初予算額は72,838千円で、前年度当初予算と比べて1,966千円(対前年度比▲2.63%)の減額となりました。

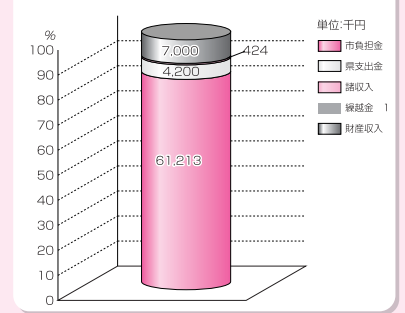
○前年度と比べて減額となった主な理由

- ・地域振興事業に関わる観光・特産品振興事業を減額したため。
- ・庁舎管理、公用車管理等にかかる経費削減を行ったため。

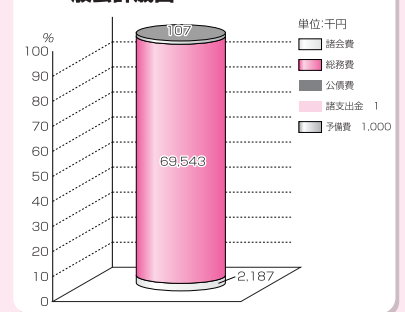
主な使いみち

- ・雲南ブランド物産展、ゆうきの里雲南フェアの開催……………3,420千円
広島市内のスーパー等で年4回程度雲南産品の物産展を開催し、販路拡大、雲南ブランドの推進を図ります。また、ゆうきの里雲南フェアを広島市で開催し、雲南地域の特産品販売と観光等の情報発信を行います。さらに、「雲南ブランド売り込みキャラバン隊」を編成し、バスツアーの商品化、特産品の販路拡大を目指し、旅行代理店、デパート、スーパー、マスコミ等へ直接売り込みをかけます。
- ・在広ふるさと応援団づくり事業……………560千円
広島在住のふるさと会員等を対象に、雲南地域の観光・物産情報をPRしていただく「雲南ふるさと応援団」を募集します。観光・イベント、物産情報を提供して、雲南地域の魅力を知人や職場等に宣伝・PRしていただきながら、雲南ブランド産品の販路拡大、観光客誘客を推進します。
- ・メディアミックスによる情報発信事業……………3,500千円
行楽シーズンに合わせてテーマを絞った雲南地域の魅力や観光・イベント情報、バスツアー企画、物産展の開催など、リビング誌や情報誌、ラジオ等を活用して複合的、集中的に情報発信します。
- ・観光客誘致事業……………2,370千円
雲南地域への誘客を図るため、雲南地域の魅力を組み入れた手づくりバスツアーを企画し、広島地域からの誘客を図ります。また、マイカーで雲南各地の観光地を巡り歩く仕掛けづくりを実施し、個人客誘致を推進します。
- ・地元ふるさと応援団づくり事業……………930千円
雲南地域の観光案内ができるガイドを養成するため、神話、観光名所、特産品等に関する集中講座を開催します。各市町のボランティアガイド養成、トロッコ列車や森林セラピーガイド等とも連携し、観光客受入れ体制の構築に向けて実施します。
- ・児童・生徒韓国交流派遣事業……………1,050千円
雲南地域の次代を担う青少年の国際化を支援するため、児童・生徒の韓国派遣について、参加費の半額程度を助成します。

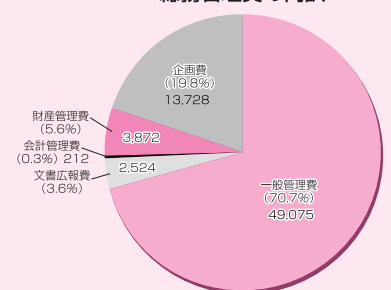
一般会計歳入



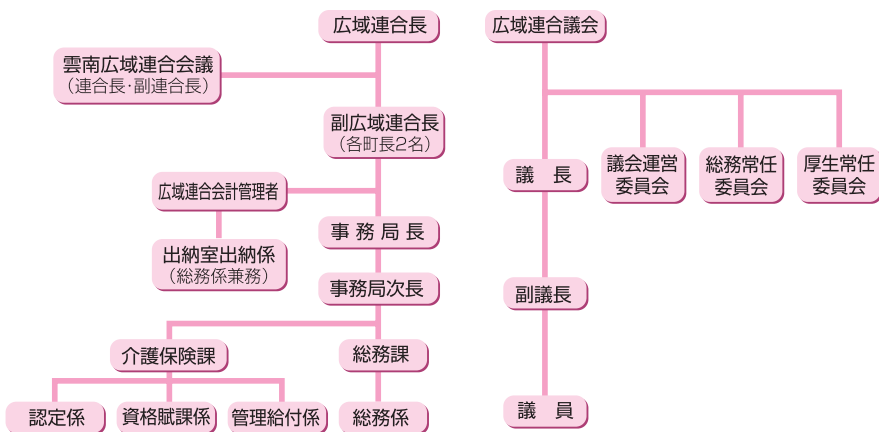
一般会計歳出



総務管理費の内訳



平成19年度 雲南広域連合組織図



職員配置

雲南広域連合では四月二日付で定期人事異動を行いました。各課の主な事務、係、担当する職員は次のとおりです。

総務課
係長 福間克巳
係員 奥野憲孝、和栗慎樹、谷山貴宣、和栗慎樹、谷山貴宣、和栗慎樹、谷山貴宣

介護保険課
係長 福間克巳
係員 奥野憲孝、和栗慎樹、谷山貴宣、和栗慎樹、谷山貴宣

出納室
係長 奥野憲孝
係員 和栗慎樹、谷山貴宣、和栗慎樹、谷山貴宣

認定係 佐藤博之
資格賦課係 伊藤豊
管理給付係 岡田有未、武田章、村上憲一、認定審査員、認定調査員
総務係 鳥谷周史、飯石陽一、岡田有未、武田章、村上憲一、認定審査員、認定調査員

公文書及び個人情報開示状況

①情報開示請求件数及び処理状況
(広域連合の行政に関する公文書の開示)

年度	請求件数	開示	部分開示	非開示	拒否	不存在	不服申立
平成18年度	0	0	0	0	0	0	0

②個人情報開示請求の件数及び処理状況
(広域連合が保有する個人情報の開示)

年度	請求件数	開示	部分開示	非開示	拒否	不存在	不服申立
平成18年度	2,735	2,734	1	0	0	0	0

・請求内容は、すべて介護保険の認定審査に係る資料でした。

温泉、神楽を堪能 雲南日帰りバスツアー



雲南広域連合では、広島地区の方々を対象に、雲南地域の魅力に触れてもらう雲南日帰りバスツアーを実施しました。

このツアーは、温泉と神楽を楽しんでいただくツアーとして、3月24日から4月28日までの間に計10回催行し、延べ437名の方々に参加いただきました。

雲南地域の各地を巡るコースで、「舞茸センター（飯南町）」、「出雲湯村温泉・清嵐荘（雲南市吉田町）」、「掛合酒蔵資料館（雲南市掛合町）」に立ち寄りしました。

まず、飯南町頓原の「舞茸センター」の栽培施設をに訪れ、はじめて見た参加者は「こういうところで栽培されているんだ」と興味深く見学されていました。その後、取れたての舞茸の販売があり、多くの方が買っておられました。

次に、「出雲湯村温泉・清嵐荘」に行き、源泉かけ流しの温泉、露天風呂に入浴した後、山菜を中心とした田舎料理をご賞味いただきました。食事をしながら、約90分間出雲神楽を鑑賞していただき、上演後は盛んに拍手が送られていました。

最後に、掛合酒蔵資料館に立ち寄り、日本酒の醸造工程の見学と竹下登記念館を見学しました。日本酒の試飲コーナーではお土産として買い求めておられました。参加された皆さんからは、「自然に囲まれた景色のいいところですね」、「神楽の熱演に感動した」、「のんびりとした一日を送ることができてよかった」などの感想をいただきました。

これからも雲南広域連合は、雲南地域の本物の魅力をPRするためにさまざまな取り組みを進めてまいります。

雲南物産展を開催しています。

4月14日(土)、15日(日)に広島市西区のフレスタモールカジル横川店で雲南物産展を行いました。

これまで「雲南フェア」及び「島根ふるさとフェア」の開催をはじめ、テレビ放映事業やパンフレットにより、雲南各市町の観光情報と特産品情報を発信し、特産品の販路拡大事業を推進して参りました。

各フェアの来場者アンケートでは、雲南地域の特産品に対する関

心や認知度は年々アップしているものの、特産品を買い求める機会が少なく、興味ある雲南ブランド産品に巡りあう機会も少ないという声が多く寄せられていました。

こうしたことから更なる販路拡大策として、18年度より雲南地域から毎回5～6業者に参加いただき、雲南ブランド産品のPRと雲南ファンの拡大、販売業者との取引増加や販路拡大をめざし開催しています。

今後は7月、11月、3月に開催を予定しており、7月は下記のとおり予定しています。出店希望、お問い合わせは雲南広域連合総務課までお電話ください。(0854-45-5880)

平成19年7月7日(土)・8日(日) 広島市西区 フレスタモール カジル横川
平成19年7月14日(土)～16日(月) 広島市南区 フレスタ宇品店



介護保険 情報 コーナー

普通徴収

(口座振替や納付書により納めている方)

前年度の所得段階をもとに、表の金額をそれぞれ4月、6月および8月に納めていただきます。また、前年度の所得段階が第4段階および第5段階の方で、18年度に保険料の激変緩和措置対象者の方は、表の金額とは異なる金額になる場合がありますので、ご注意ください。

《表》

前年度の所得段階	期別の保険料額
第1段階	4,000円
第2段階	4,000円
第3段階	6,000円
第4段階	8,000円
第5段階	10,000円
第6段階	12,000円

○4月2日以降に65歳になられた方や、雲南地域外から転入された方は、生活保護を受けている方を除き、期別の保険料額は8,000円となります。



介護保険料の仮徴収について

雲南広域連合では、4月より平成19年度介護保険料の仮徴収を行っています。みなさんに納めていただく保険料は、介護保険を運営していくための大切な財源です。必要な時に必要な介護サービスを利用できるように、保険料は必ず納めましょう。

介護保険の仮徴収とは

通常、介護保険料は、年間保険料額を年6回に分け、偶数月(年金支給月)に納めていただきます。ただし、第1期～第3期(4月、6月および8月)の保険料額は、前年の所得や住民税の課税状況が確定していないため、仮の保険料を納めていただくこととなります(これを「仮徴収」といいます)。

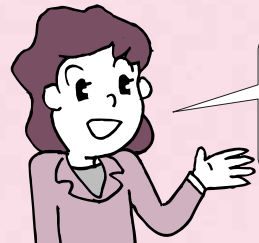
仮徴収期の保険料額は、4月中旬に第1号被保険者のみなさんへお送りした「介護保険料仮徴収開始通知書」によりお知らせしていますので、そちらをご確認ください。

なお、第4期(10月)以降は、前年の所得や住民税の課税状況により確定した年間保険料額から、第1期～第3期に納めていただいた保険料額の合計を差し引いた残額を納めていただきます(これを「本徴収」といいます)。確定した保険料額は、9月中旬にお送りする「介護保険料決定通知書」によりお知らせします。

口座振替に関する通知書の廃止について

雲南広域連合では、18年度まで介護保険料を口座振替で納めていただく方へ、「口座振替納付明細書及び口座振替済通知書」を納期ごとにお送りしていました。この度、事務処理の見直しにより、この通知書を平成19年4月より廃止いたしました。口座振替により納めていただくみなさんには大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解いただけますようお願いいたします。

なお、振替予定額は、4月にお送りしました「介護保険料仮徴収開始通知書」、ならびに、9月にお送りする「介護保険料決定通知書」でお知らせしますのでご確認ください。また、振替納付の領収は、通帳の記帳に換えさせていただきますので、通帳の金額をご確認ください。



介護保険料についてご不明な点は、
雲南広域連合介護保険課(0854-45-5803)まで
お問い合わせください。

特別徴収

(年金天引きにより納めている方)

仮徴収期における期別の保険料額は、平成19年2月に年金から天引きされた金額と同じ額となります。なお、第1期～第3期の保険料額が年間保険料額の半分に満たない方は、第4期以降における期別の保険料額が著しく高くなる場合があります(年間保険料額は、所得段階に変更がない場合は18年度と同じ額となります)。

なお、平成18年4月2日から10月1日までの間に、新たに次の要件をすべて満たした方は、平成19年4月から特別徴収に切り替わります。

- ①65歳以上の方
 - ②年額18万円以上の年金(老齢福祉年金を除く)を受け取られている方
- ※過去に年金天引きにより保険料を納めていた方で、18年度に年金天引きが停止した方は、平成18年4月2日から10月1日までの間に上記の要件を満たしていても平成19年10月まで年金天引きになりませんのでご注意ください。

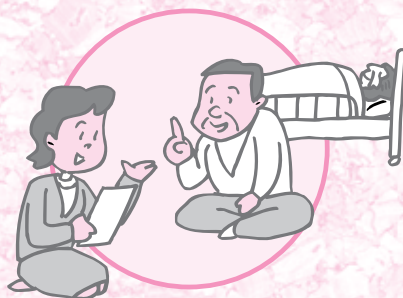


2. 認定調査

全国共通の調査票を用いて、雲南広域連合の訪問調査員など（新規申請、変更申請の際には、原則として雲南広域連合の訪問調査員が調査を行います）が直接本人の状態を聞き取り調査します。本人の意思の疎通が困難である場合は、家族の方への聞き取り調査を行います。

調査内容

被保険者の日常生活動作や認知症に伴う問題行動の状況など、認定に必要な項目を全国共通の調査票により客観的に調査を行います。調査事項は、心身の状況や活動の状況、参加の状況に関する調査（82項目）の基本調査、基本調査で表現できない被保険者の状況や訪問調査の際に判断を行った根拠などの特記事項です。



3. 一次判定（コンピュータ判定）

調査票をコンピュータ分析し、要介護状態区分を導き出します。分析にあたっては、どれくらいの介護サービスが必要かを要介護認定等基準時間の長さによって示します。要介護認定等基準時間は、次の5つの分野ごとに計算されます。

- (1) 直接生活介助 入浴、排泄、食事などの介護など
- (2) 間接生活介助 洗濯、掃除などの家事援助など
- (3) 問題行動関連行為 徘徊に対する探索、不潔の行為に対する後始末など
- (4) 機能訓練関連行為 歩行訓練、日常生活訓練などの機能訓練
- (5) 医療関連行為 輸液の管理、じょくそうの処理などの診療の補助など

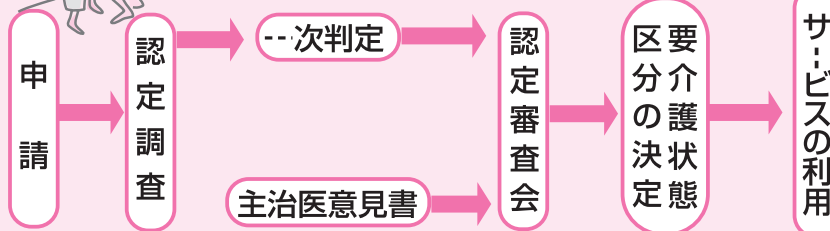


4. 主治医意見書

医師から介護を必要とする原因疾患などについての記載を受けます。



認定のしくみ



【申請から認知結果通知までの流れ】

1. 申請

被保険者が最寄の市町介護保険担当窓口申請します。本人が寝たきりなどで申請ができない場合は、その家族が本人に代わって申請しても構いません（代理申請）。また、本人や家族以外に、地域包括支援センターや成年後見人、指定居宅介護支援事業者や介護保険施設、社会保険労務士に申請をお願いすることもできます（代行申請）。要介護認定などの申請は、住民の皆さんに身近なそれぞれの市町介護保険担当窓口で受付をいたします。

○申請ができるのは

(1) 第1号被保険者

寝たきりや認知症などにより、日常生活上で常に介護が必要な方。あるいは、家事や身支度などの日常生活に支援が必要な方（どんな病気やけがが原因で介護が必要になったのかは問われません）

(2) 第2号被保険者

特定疾病が原因となって、日常生活上の介護や支援が必要な方
※特定疾病とは、次の16種類の病気が定められています。

- | | |
|--------------|------------------------------|
| ①がん末期 | ⑨早老症 |
| ②筋萎縮性側索硬化症 | ⑩糖尿病性神経障害、糖尿病性腎症および糖尿病性網膜症 |
| ③後縦靭帯骨化症 | ⑪脳血管疾患 |
| ④骨折を伴う骨粗しょう症 | ⑫パーキンソン病関連疾患 |
| ⑤多系統萎縮症 | ⑬閉塞性動脈硬化症 |
| ⑥初老期における認知症 | ⑭慢性関節リウマチ |
| ⑦脊髄小脳変性症 | ⑮慢性閉塞性肺疾患 |
| ⑧脊柱管狭窄症 | ⑯両側の膝関節または股関節に著しい変形を伴う変形性関節症 |

○申請に必要なもの

- ・被保険者証（第2号被保険者は、現在加入の医療保険の被保険者証）
- ・申請書

訪問調査に伺います！

雲南広域連合では、訪問調査業務を、調査の公平性・客観性の観点から新規申請、変更申請の方を中心に直接実施いたします。

ここでは、今年度雲南圏域の訪問調査を実施する4名の広域連合の訪問調査員を紹介します。訪問調査の際にはどうぞよろしくお願ひします。



長谷川照子

奥出雲町を担当させていただきます長谷川です。出身も奥出雲町で三沢城跡のある三沢です。趣味は静寂感と安らぎを味わえるお茶、お花、そして読書です。訪問調査が介護を受ける方、なされる方に多少なりとも「癒し」の一助となればうれしく思います。お伺ひしました時にはどうぞよろしくお願ひいたします。



山本真澄

雲南市を担当させていただきます山本です。訪問調査員として皆様に信頼していただけよう努力していきたいと思ひます。訪問調査でお伺ひしたときはどうぞよろしくお願ひします。



落部みゆき

飯南町、掛合町を担当させていただきます落部です。休日はいろいろなお店に出かけリフレッシュしています。皆さんに信頼される調査員になれるよう頑張ります。よろしくお願ひします。



室下悦子

雲南市を担当させていただきます室下です。四季の移ろいを毎日楽しみながら皆様に親しまれ、信頼される調査ができるよう誠意を持って努めさせていただきますと思ひますのでよろしくお願ひします。

かたん!! 介護予防体操

平成18年4月に介護予防制度が始まってから1年が経ち、予防に向けた取り組みも広がってきています。

ちょっとした時間を見つけて介護予防体操を実践し、これからも元気に過ごしましょう。

今回ご紹介する介護予防体操は、ひじ・腕の曲げ伸ばしの体操です。

①手首をにぎる

横になり、ひじを肩のほうに曲げ、もう一方の手で手首をにぎります。



②ひじを伸ばす

手首をにぎったまま、ゆっくり上にひじを伸ばしながら、腕を上げます。



痛みがある場合、完全に伸ばす必要はありません。

③そのまま上へ移動します。

ひじを伸ばした状態で、顔の方へゆっくり引き寄せてみましょう。



④ゆっくりもとへ戻す

腕をゆっくりもとの状態へ戻します。終わったら、もう一方の腕でも行ってみましょう。



注意：無理のないよう、毎日少しずつ実践しましょう。

5. 認定審査会

介護認定審査会では、コンピュータによる一次判定結果に、主治医意見書、訪問調査の際の特記事項などの情報をもとに、保健・医療・福祉の専門家の委員により、最終判定を行います。

最終判定では、主治医意見書、特記事項の内容から、特に介護の手間がかかることが具体的に明らかになっている場合は、それに基づいて一次判定結果を変更することもあります。

調査結果に不備がある場合や、調査結果と主治医意見書の内容に違いがある場合には、再調査を行うことがあります。

審査判定にあたって、審査会が必要であると判断した場合には、審査対象者およびその家族ならびに主治医、訪問調査員その他の専門家から意見を聞くこともあります。

○審査会の構成は

介護認定審査会は、保健、医療、福祉の専門家5名の委員で構成される合議体で審査を行います。雲南地域では、16の合議体を設けて、認定審査がスムーズに行えるよう審査会を開催しています。また、直接関係した委員が関わらないよう、公平で正確な審査判定に努めています。



6. 認定

要介護認定などの結果は、申請のあった日から30日以内に本人に通知します。30日以内に間に合わない場合は、延期通知書により、延期の理由、処理見込期間をお知らせします。

要介護認定等の結果は、申請のあった日から原則30日以内に本人に通知します。(30日以内に間に合わない場合は、延期通知書により、延期の理由、処理見込期間をお知らせします。)

○認定結果に不服がある場合

認定は、訪問調査員による調査、主治医による意見書をもとに、保健・医療・福祉の専門家により公平に審査しますが、認定結果に不服がある場合は、県に設置される介護保険審査会に、認定結果を知った日の翌日から60日以内に不服申立をすることができます。まずは各市町介護保険窓口または雲南広域連合にご相談下さい。



7月28日(土) 飯南町
とんぼらふる里夏祭
頓原庁舎前駐車場

頓原の夏の風物詩。盛りだくさんの催しに様々な夜店も並びます。



開始時間:18時
★とんぼらふる里夏祭実行委員会
TEL 0854 72 0907

7月23日(月) 雲南市加茂町
焼火(たくひ)神社二十三夜祭
加茂中(連坦地)

焼火神社の神事が行われ、夜店が賑やかに立ち並びます。



★雲南市商工会加茂支所
TEL 0854 49 7227

7月7日(土)、8日(日) 飯南町
半夏まつり
赤名 半夏まつり特設ステジ(旧JRバス車庫)

江戸末期の牛の名残で、花火や出店、ステージイベントなど楽しさいっぱいです!



★赤来の夏まつり実行委員会
(飯南町商工会内)
TEL 0854 76 2118

7月25日(水) 雲南市三刀屋町
三刀屋天満宮夏の例祭
三刀屋天満宮

三刀屋天満宮の神事が行われ、花火が上がり夜店も立ち並んで賑わっています。



★雲南市観光協会三刀屋支部
TEL 0854 45 2111

7月20日(金) 雲南市木次町
きすき夏まつり
斐伊川河川敷ほか

賑やかに夜店が立ち並び、福岡ソウルの点灯や仕掛花火などで夏の夜空を彩ります。



★雲南市観光協会木次支部
TEL 0854 40 1082

7月28日(土) 奥出雲町
船通山宣揚祭
船通山

八岐大蛇の尾から出たといわれる天叢雲剣(アムノムラクモツルギ)の出頭を記念する祭事。



開始時間10時30分～(予定)
★奥出雲町観光協会
TEL 0854 54 2524

7月下旬 雲南市大東町
夜神楽大会
神楽の宿(大東町須賀)

神楽の宿を舞台に、優雅で幻想的な神楽の舞を夜が更けるまで上演します。



★海潮地区振興会
(海潮基幹集落センター内)
TEL 0854 43 2705

ゆきの里 雲南 イベント情報 2007

6月30日(土) 雲南市木次町
木村充揮ライブ
チェリヴァホール3階大会議室

「憂歌団」のリードヴォーカルとして絶大な人気を誇ってきた木村充揮ライブ。ブルースの世界をたっぷり味わってください。
19:00開演
前売3,000円(当日3,500円)
★チェリヴァホール
TEL 0854 42 1155

6月30日(土) 雲南市大東町
神話の森「邦楽」コンサート
古代鉄歌謡館

伝統をベースに、新しいスタイルの邦楽にトライしてきた若手ユニット「URANUS」によるコンサート。



18:00開場19:00開演
一般/2,500円
高校生以下/1,500円(当日各500円up)
★古代鉄歌謡館
TEL 0854 43 6568

6月10日(日) 雲南市三刀屋町
第11回雲南合唱フェスティバル
三刀屋町文化体育館アスバル

12:30開場13:00開演 無料
★三刀屋町文化体育館アスバル
TEL 0854 45 9222

6月16日(土) 雲南市三刀屋町
鼓童
ONE EARTH TOUR 2007
三刀屋文化体育館アスバル

エネルギー太鼓の響きで観る者を興奮の渦に巻き込みます。
一般/3,000円
高校生以下/2,000円
全席指定 18:00開場 19:00開演
★三刀屋文化体育館アスバル
TEL 0854 45 9222

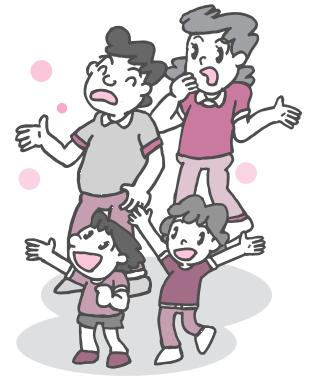
6月16日(土) 雲南市木次町
アジアンシアター
「ユア・マイ・サンシャイン」
チャリヴァホール 2階ホール

韓国で実際に起こった奇跡のような物語。300万人の心を動かした歴代NO1ラブストーリー。
①14:00～ ②19:00～
前売り1,000円(当日1,200円)
★チェリヴァホール
TEL 0854 42 1155

6月中旬 雲南市大東町
赤川ほたる観賞バス運行

赤川ほたる(ゲンジボタル)が飛び交う最適な時期に観賞バスを運行します。

参加費:
大人700円
小中学生500円
幼児無料
★赤川ほたる保存会事務局
TEL 0854 43 8164



JUNE 水無月

月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

6月9日(土) 奥出雲町
吾妻山山開き
大峠地内 吾妻山第二駐車場

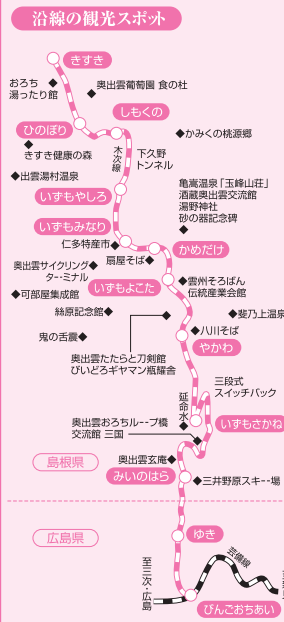
春はつつじ、夏はキャンプ、秋は紅葉、四季を通じて楽しめる自然の宝庫です。
★馬木コミュニティセンター
TEL 0854-53-0201

6月10日(日) 飯南町
東三瓶フラワーバレー
第16回ポピー祭
志都美地内イベント会場



約10haの花畑に100万本のポピーが咲き、家族みんなで楽しめる企画がいっぱい!
★東三瓶フラワーバレーポピー祭実行委員会
(飯南町自治振興課志々地区担当)
TEL 0854 73 0001

木次線トロッコ列車
奥出雲おるち号



時刻表

木次	日登	下久野	出雲八代	出雲三成	亀高	出雲横田	八川	出雲坂根	三井野原	油木	落合備後
10:00発	10:07着 10:07発	10:18着 10:19発	10:29着 10:29発	10:37着 10:38発	10:45着 10:46発	10:56着 10:57発	11:04着 11:05発	11:17着 11:23発	11:45着 11:45発	11:56着 11:56発	12:08着
落合備後	油木	三井野原	出雲坂根	八川	出雲横田	亀高	出雲三成	出雲八代	下久野	日登	木次
12:29発	12:40着 12:40発	12:51着 12:51発	13:11着 13:22発	13:35着 13:36発	13:43着 13:45発	13:56着 13:56発	14:04着 14:17発	14:25着 14:25発	14:35着 14:35発	14:46着 14:47発	14:53着

JULY 文月

月	火	水	木	金	土	日
					1	8
2	3	4	5	6	7	15
9	10	11	12	13	14	22
16	17	18	19	20	21	22
23/30	24/31	25	26	27	28	29

7月18日(日) 雲南市三刀屋町
雲見の滝 滝開き
雲見の滝

雌雄両滝からなり、右岸には高さ100mの屏風岩、深流からはカジカガエルの声も聞こえます。



★雲南市観光協会三刀屋支部
TEL 0854 45 2111





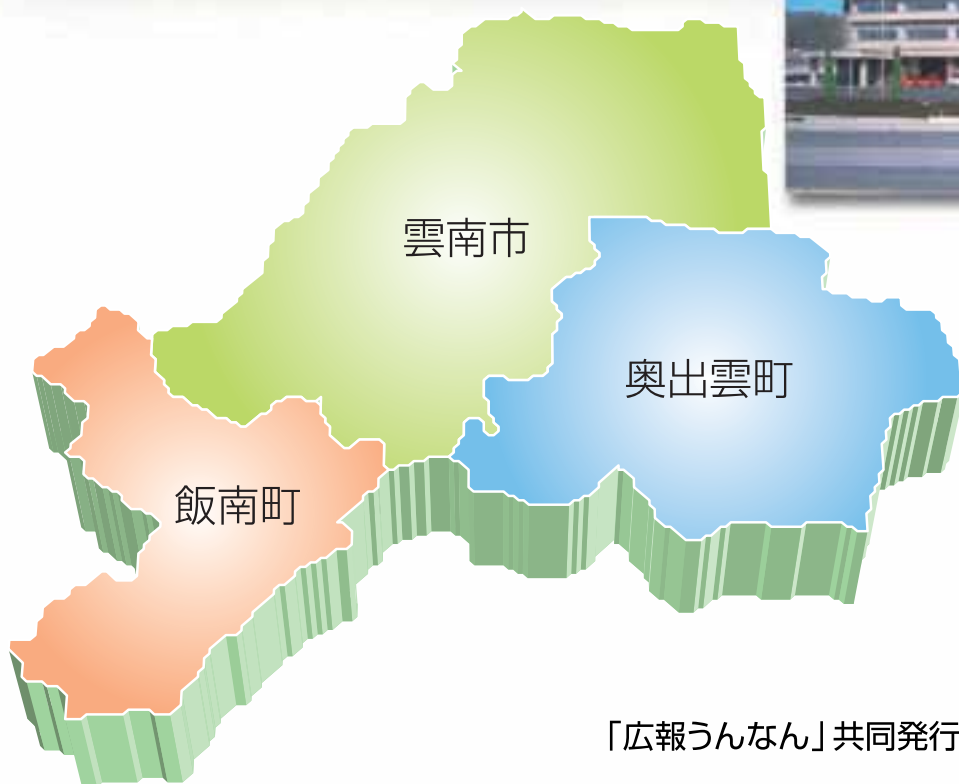
雲南広域連合



公立雲南総合病院



雲南消防本部



「広報うんなん」共同発行2年目にあたって

昨年度から雲南広域連合、公立雲南総合病院組合、雲南消防本部の3団体で広報誌の共同発行をしてまいりました。

雲南地域1市2町の全世帯を対象として、雲南広域連合からは介護保険情報、地域振興事業や観光に関する情報を、公立雲南総合病院からは医療、病院事業に関する情報を、雲南消防本部からは消防・防災に関するお知らせをお届けしております。

本年度も年4回(5月・7月・10月・1月)の発行を予定し、雲南地域の皆さまに分かりやすく地域情報をお届けしてまいりますので、引き続きよろしくお願いいたします。

発行

- ・雲南広域連合：〒690-2403 島根県雲南市三刀屋町下熊谷1773-1 TEL0854-45-5880 FAX0854-45-5887
<http://www.unnan.jp>
- ・公立雲南総合病院：〒699-1221 島根県雲南市大東町飯田96-1 TEL0854-43-2390 FAX0854-43-2398
<http://user.yoitoko.jp/unnan-h/>
- ・雲南消防本部：〒699-1311 島根県雲南市木次町里方1100-6 TEL0854-40-0119 FAX0854-42-1911